

**(川崎さん)**

助ける、誰かが声をかける、というお約束事になっているのでしょう。

けれども、有事の際にはその方達も避難者になるのです。それでハンディキャプをもつ者として、お願いします、助けてください、となかなか言えない、という空気を今回すごく感じました。

皆さんにも今回、どう受け止めるかはご自由ですけど、それぞれに少し掘り下げて考えていただきたいという思いがあります。以上です。ここまでにしておきます。

**(桶屋 善一さん)**

はい、ありがとうございます。

**(川崎さん)**

次、善ちゃん

**(桶屋さん)**

僕はいいので

**(川崎さん)**

僕も言わんや駄目や。さっきの文章で本当に終わり？ 楽な話

**(桶屋さん)**

だって僕は、初めは一部の揺れだったけど、だんだん大きな揺れになって怖くて動けなかった。

**(川崎さん)**

怖くて動けなかったというのが一番言いたかった。